

図書館へ行こう！

前の学年に借りた本の返却が遅れている人は すぐに返却しましょう

新学期が始まり、早くも十日が過ぎようとしています。朝の読書も定着してきた頃でしょう。本は忘れずに準備できていますか。十分間、静かに本に向き合えているでしょうか。一日たった十分ですが、すでに多くのページを読み進んでいる人もたくさんいるはず。毎朝の貴重な十分間で、多くの栄養を身につけていってください。



図書館から、雑誌のご紹介 『カトリック生活』

『カトリック生活』は、変動する社会情勢と多様な価値観の中で生きる現代の人生の問いを、カトリックの価値観を提示しながら読者のみなさまと共に考える月刊誌です。

5月号 [特集] 道徳教育と宗教教育 人間としての在り方・生き方を考える

ミッションスクールにおける「宗教」の教育と道徳教育／普遍的価値観を共有する大切さ

／「宗教」の授業で女子中学生と読む聖書を、「道徳」の時間で読むことはできるだろうか

【連載記事】**教皇フランシスコの言葉** 神の憐みの濫用は避けよう

原語をとおして読む聖書 「謙遜」について

私たちにできること 私たちがすべきこと 心にともる光を信じて など

図書館にはこの他にも、科学の話題でおなじみ『Newton』、心身ともに元気になるための食生活雑誌『栄養と料理』、本と活字にまつわる情報誌『本の雑誌』、大学受験に欠かせない情報満載の『螢雪時代』、自然科学や歴史など、地球上のあらゆる事象を伝える『ナショナルジオグラフィックジャパン』、世界中で読まれている英字雑誌『TIME』など、たくさんの雑誌があります。見に来てくださいね。

特別展・作家シリーズ 太宰治展

旧制中学の入学願書に貼られた写真→



太宰治は、1909(明治42)年6月19日、青森県に生まれました。実家は代々大地主で、父は勅撰貴族院議員という、いわゆる“搾取階級”の出身であることに引け目を感じながら育ったといわれています。二十一歳で東京帝国大学仏文学科に入学してからは、終生東京で過ごしました。

太宰の本名は、津島修司といました。「ダサイ」というペンネームの由来について、万葉集の歌作者「大宰権帥大伴…」から取ったのだと、彼自身が語っていたということです。

直筆原稿(複写)二篇『人間失格』『斜陽』を特別公開！太宰治はいったいどんな文字を書いていたのかな？ ぜひご覧くださいね。 **太宰治展:図書館閲覧室入り口にて展示中**

○本年度の生徒図書委員会が発足しました。よろしくね！

本の「貸し出し」「返却」手続きなどの図書館業務を、昼休みは高校図書委員、放課後は中学図書委員が担当します。

皆さんがよりスムーズに図書館利用ができるようがんばりますので、よろしくお願いします。

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 学 期 | 昼休み | 3 C | 3 A | 3 B | 3 B | 3 D |
| | 12:45~13:00 | 中園・宮園 | 安部・長瀬 | 高柳・吉元 | 高柳・吉元 | 坂元・末原 |
| | 放課後 | | 3-2 | 3-1 | 3-1 | 3-2 |
| | 16:20~17:00 | | 木幡・平井 | 徳丸・山下 | 徳丸・山下 | 木幡・平井 |

(水曜日の放課後当番は、一時間繰り上がります)

お知らせ 4月19日(ねばろ一会)は、休館日です。